

2009年9月期 決算説明資料

2009年11月

フィンテック グローバル株式会社

(東証マザーズ:8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

本説明資料には、業界の動向や分析、今後の見通し、戦略等、現在入手可能な情報から弊社グループの経営陣が判断したものでありますが、様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。

従いまして、将来の戦略及び業績等につきましては本説明資料の内容と異なる可能性がございますことをご了承下さい。

2009年9月期 通期業績の総括

2009年9月期 業績(連結)

連結(単位:百万円)	2008年9月期	2009年9月期	前年 同期比
売上高	* 14,165	10,385	△ 3,779
営業利益	△ 8,240	△ 20,321	-
経常利益	△ 9,114	△ 21,197	-
当期純利益	△ 7,160	△ 12,091	-

*2008年9月期においてはエフエックス・オンライン(株)を連結の範囲に含んでおりました。



売上・営業面

- ・アレンジャー業務においては、不動産会社等の既存の顧客基盤、国内外のデット及びエクイティの投資家との関係構築、またファイナンスアレンジに関するノウハウを生かし、財務アドバイザー業務や企業再生のためのスポンサー契約を基にしたアレンジメントを実行しました。
これまで安定的な収益を得ていたプリンシパルファイナンス業務においては、新規実行を控え、営業貸付金の回収に注力。結果、手数料収入、金利収入とも大幅に減少しました。
- ・子会社Crane Reinsuranceにおいては、再保険会社Hardy Underwriting Bermudaとの提携により、同社の引受ける再保険契約の一部を自動的に取り込むことにより、保険料収入が伸長しました。

各子会社の業績についてはP13を参照

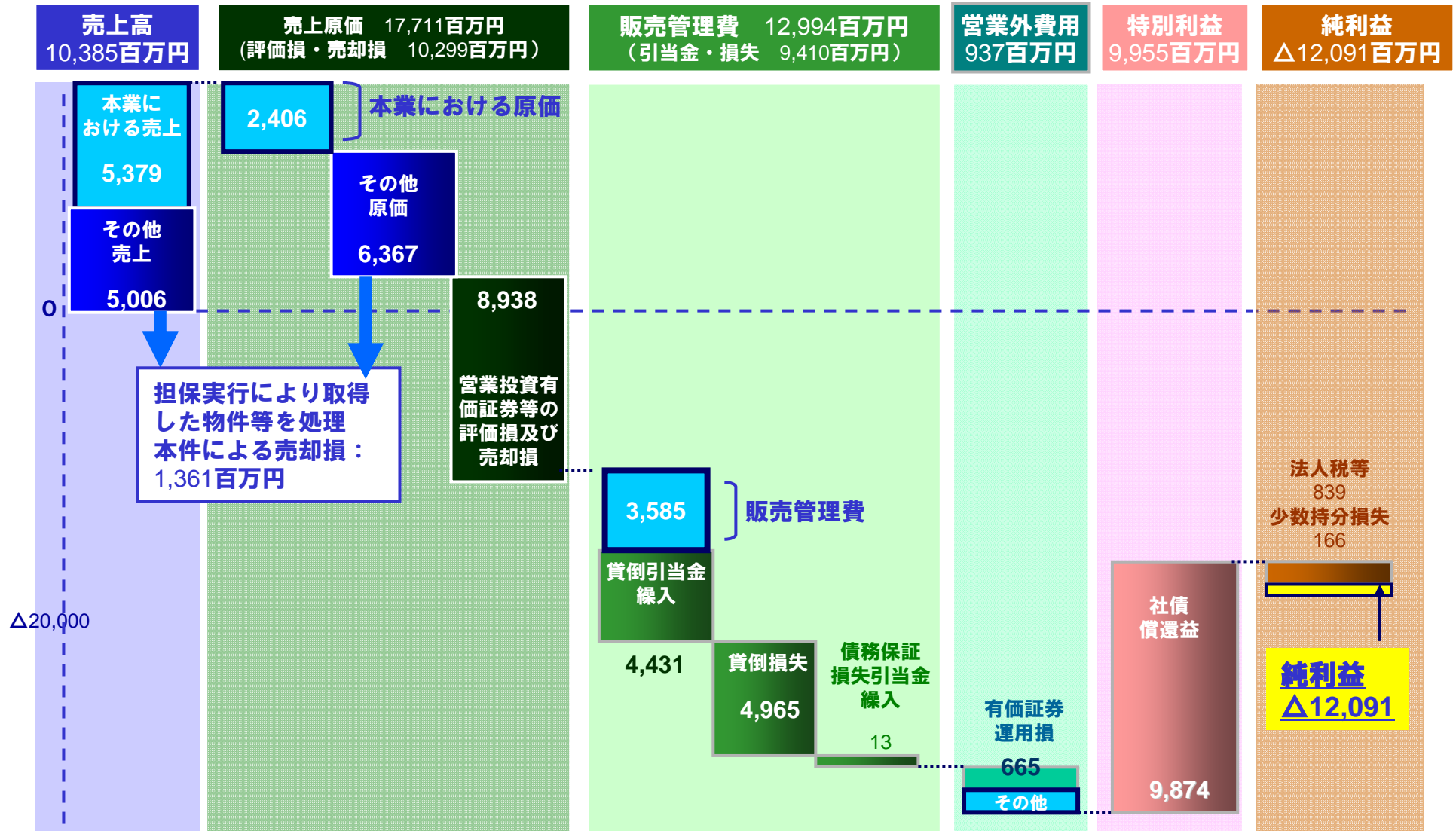


利益面

- ・FGI単体の損失が響き、連結においても大幅な損失を計上しました。
財務体質の改善を図るべく、リスクアセットの処理を実行 (FGI)し、不動産を所有するSPCへの貸付債権、匿名組合出資持分の売却、引当処理により評価損及び売却損を約89億円、また、貸倒引当金繰入、貸倒損失、債務保証損失引当金として約94億円計上しております。
課題となっていたユーロ円CBの一部買入消却を実行、社債償還益約98億円を計上しました。
- ・ステラキャピタルにおいては約6.5億円の有価証券運用損を営業外費用に計上。投資効率を勘案し、同社の減資手続きを開始しました。

2009年9月期 損益の要因分析

今期業績において、不動産の評価損・売却損、営業投資有価証券の評価損・売却損、及び貸倒損失、貸倒引当金の計上、保証債務損失引当、社債償還益等、主にキャッシュを伴わない項目による要因が大きく影響しました。



2009年9月期 四半期業績の推移(連結)

(単位:百万円)	2009年9月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通 期
売上高	842	1,204	1,716	6,621	10,385
営業利益	△ 1,800	△ 17,825	*1 72	*2 △ 768	△ 20,321
経常利益	△ 2,318	△ 18,165	*1 129	*2 △ 842	△ 21,197
当期純利益	△ 2,107	△ 12,061	2,941	△ 863	△ 12,091

アセットのリスクマネジメントとして、問題債権の処理を断行。大幅な損失を計上しました。

また、第2四半期において、ユーロ円CBの買入消却による社債償還益約70億円を特別利益に計上しました。

約28億円の社債償還益を計上しました。

債権回収の一環として担保実行した物件等を売却したことにより、売上約50億円、売上原価約63億円を計上しました。

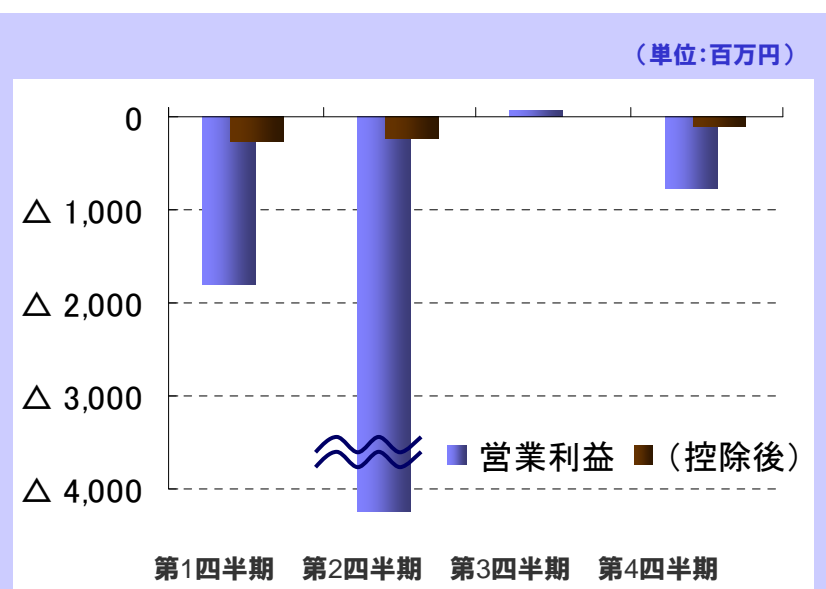
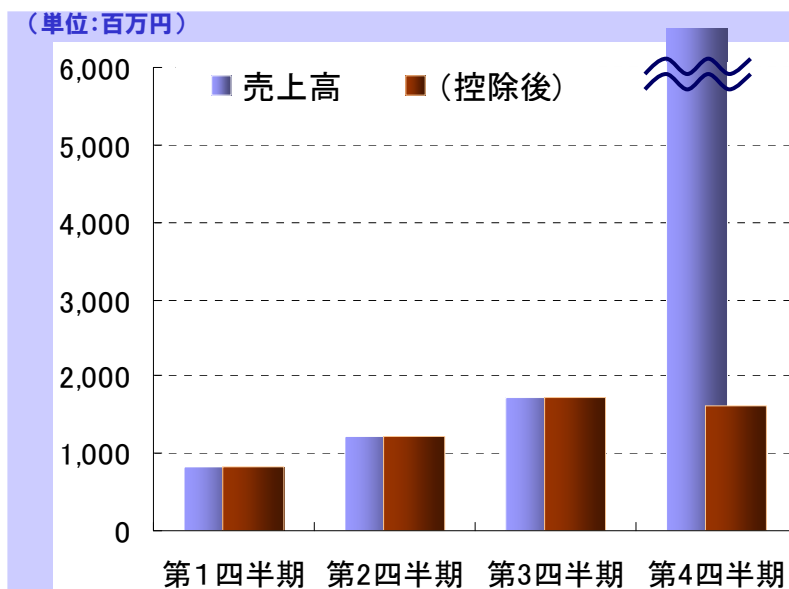
*1 3Q累積業績-2Q累積業績

*2 通期業績-3Q累積業績

2009年9月期 四半期業績の推移(連結)

担保実行等により取得した物件の売却による売上及び売上原価、並びに評価損、引当金損失等を控除した場合の当社の収益力

(単位:百万円)	2009年9月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高	842	1,204	1,716	6,621	10,385
(控除後)	842	1,204	1,716	1,615	5,379
営業利益	△ 1,800	△ 17,825	72	△ 768	△ 20,321
(控除後)	△ 280	△ 230	11	△ 111	△ 611



2009年9月期 3つの課題に対する取組み

FGIグループとしての 収益力の回復に向けた施策

1

リスクアセットの 処理

- 担保実行により取得した大型案件の処理
- 保有担保物件等の処理
- 引当済みの債権の回収に注力
- 病院再生案件にかかる担保株式の処分

2

財務面の強化

- 有利子負債の圧縮
- ユーロ円CBの買入消却
- 資金繰りの確保

3

収益力の回復 安定的な収益構造の構築

- 既存マーケット
 - クライアントの債務整理、ファイナンスアレンジ、再生支援業務提携
- 派生した新規マーケット
 - AM会社スタート
 - 次世代の基盤づくり
 - 公共財関連ビジネススタート。公共ファイナンス分野への積極展開を図る

2009年9月期 3つの課題① リスクアセットの処理

① リスクアセットの処理

- 担保実行により取得した大型案件の処理を実行
- 保有担保物件等の処理
- 引当済みの債権の管理回収・債権保全に注力
- 病院再生案件にかかる担保株式の処分



リスクアセットの処理が終結
引き続き債権の管理回収を行う

2009年9月期 3つの課題 ② 財務面

② 財務面における取組み



負債合計 615億円



2008年9月期

▶ 負債の圧縮を実行、筋肉質なBSに移行

- SPCの非連結化により短期借入金のうち、ノンリコースローン分 233億円減少
- 銀行借入は130億円減少 (上記ノンリコースローン分を除く)
- ユーロ円CBの買入消却142億円分

負債合計 103億円



2009年9月期



512億円の負債減少、財務リスク圧縮・スリム化
2010年2月の社債の任意償還に向けて引き続き対応

2009年9月期 3つの課題③ 収益力の回復

③ 収益力の回復



既存マーケット

- ・クライアントへの債務整理
- ・リファイナンスのアレンジ
- 財務リストラクチャリングのアドバイザー
- ・再生支援／スポンサー
- ・業務提携

派生した新規マーケット

- ・AM会社を子会社化
(フィンテックアセットマネジメント(株))
- 投資案件の取得売却及びValue Up
管理・ファンドの運営管理まで、
一連のAM機能をもつ。
- ・キャピタル・サーヴィシング
債権回収との業務提携

次世代の基盤づくり

- 公共財関連ビジネスにかかる新規
子会社を設立。
(株)公共ファイナンス研究所及び
(株)公共財アセットマネジメント)
- 既存子会社のPMC*による公会計
コンサルに加え、公共ファイナンス
に係る調査・分析業務の受託から
ファイナンス・スキームの提供まで
幅広く、地方自治体の財政健全化へ
の取組みをサポートすべく、各
自治体への提案活動を開始。



既存の不動産会社等の顧客基盤、国内外投資家とのリレーション構築、財務アドバイザー業務や企業再生のためのスポンサー契約をもとにしたファイナンスアレンジを実行。

当社の取組みと環境の変化

	2008/9	2009/3	2009/9
当社グループ	<ul style="list-style-type: none"> ■売上構造の変化 ■不動産マーケット悪化により、評価損、貸倒損失を計上 ■エフエックスオンラインの売却 ■マーケットの悪化により余資運用を行っていたステラキャピタルの有価証券運用損を計上 	<ul style="list-style-type: none"> ■売上の大半はアレンジメントから、コンサルティング、再生ビジネスといった厳しい環境に対応した業務展開に変化（売上の分散） ■現預金の確保 ■長引くマーケットの悪化により評価損、引当金を計上 ■懸念事項であった大型案件を処理 ■ユーロ円CBの買入消却を実行 ■繰延税金資産の取崩し ■新規投融資抑制 ■資産処分を断行 	
マーケット	<ul style="list-style-type: none"> ■資金ショートによる破綻企業続出 ■リーマンブラザーズ破綻 ■ノンリコースローンのリファイナンスが困難な状況に ■資産圧縮 	<ul style="list-style-type: none"> ■負債返済、資産圧縮が優先事項 ■世界規模で不動産マーケットが悪化 ■世界的な金融危機に直面 ■日経平均7千円割れ ■実体経済悪化 ■オフィス空室率上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ■負債返済・資産圧縮に一定の目処 ■市場の調整局面の終焉の兆し、わずかながら回復の可能性が散見 ■日経平均1万円台を回復 ■円高が加速 ■不動産価格の下げ止まりの兆しが見え始める
金融機関	<ul style="list-style-type: none"> ■不動産に対する投融資姿勢の厳格化 ■外資系レンダーの撤退縮小傾向 <p style="text-align: center;">■金融業界の動向は中長期予測不可能な状況</p>		<ul style="list-style-type: none"> ■不動産セクターに対する新規投融資は基本的に厳格な姿勢が継続 ■一方で物件の選別化が進み、優良物件へのファイナンスは回復の兆し

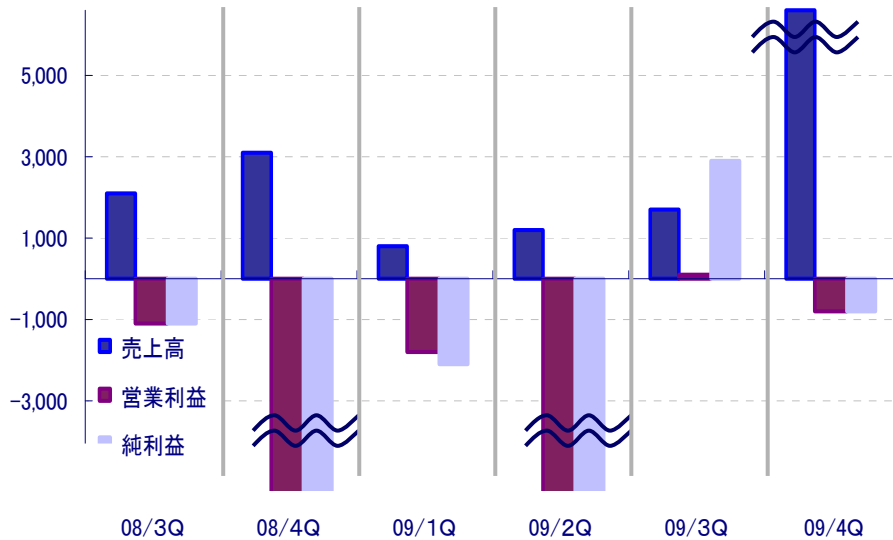
2009年9月期 財務指標の推移

連結 (単位：百万円)		2008年			2009年				
		3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
PL	売上高	2,090	3,113	14,165	842	1,204	1,716	6,621	10,385
	営業利益	△ 1,067	△ 9,485	△ 8,240	△ 1,800	△ 17,825	*1 72	*2 △ 768	△ 20,321
	当期純利益	△ 1,097	△ 5,647	△ 7,160	△ 2,107	△ 12,061	*1 2,941	*2 △ 863	△ 12,091
BS	純資産	26,359	17,426	17,426	15,049	3,213	6,433	5,447	5,447
	総資産	105,048	79,021	79,021	65,802	22,643	20,425	15,766	15,766
財務比率	自己資本比率	21.4%	21.3%	21.3%	22.3%	11.6%	27.2%	29.5%	29.5%
	デットエクイティレシオ ※	1.84	2.14	2.14	1.72	5.42	1.71	1.85	1.85

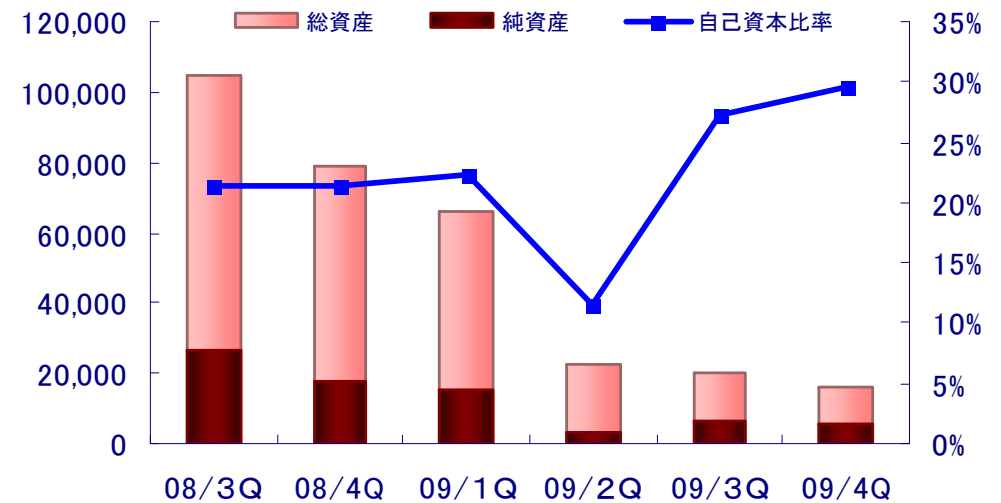
※ノンリコースローン控除後の有利子負債／自己資本

*1 3Q累積業績-2Q累積業績
*2 通期業績-3Q累積業績

(単位：百万円)



(単位：百万円)



2009年9月期 子会社業績の概要

単位：百万円

フィンテック グローバル 証券	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期
売上高	99	65	56	35
経常利益	△ 29	△ 4	△ 20	△ 14

海外ファンド募集の媒介売上等を計上、
また国内・海外機関投資家との関係深耕に注力しました。

Stellar Capital	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期
売上高	178	64	31	28
経常利益	△ 195	△ 144	△ 669	△ 55

運用資産に係る損失処理は第2四半期までに終了。
投資効率を勘案し、事業の選択と集中を図るべく、約84億円の減資手続きを開始しました。又、欧州金融機関とのネットワークを活かすべく事業再編に取り組んでおります。

Crane Reinsurance	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期 *	下半期 *	上半期	下半期
売上高	△ 51	△ 186	29	299
経常利益	△ 280	△ 189	△ 254	15

運用資産にかかる損失計上は第2四半期までに終了。
Hardy Underwriting Bermudaとの再保険契約に基づく保険料収入は順調に拡大しました。

イントラスト	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期
売上高	59	317	445	437
経常利益	△ 48	69	73	△ 9

滞納家賃保証事業を行う株式会社イントラストは、順調に新規の保証契約件数を増加させ、契約数、売上ともに前年度に比べ大幅に増加しました。

パブリック マネジメント コンサルティング	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期
売上高	—	79	152	97
経常利益	—	4	△ 15	△ 52

日本電気株式会社とのアライアンスや全国税理士事務所とのネットワークの活用により、地方自治体からの契約を獲得しておりますが、景気悪化による税込減少で情報関連投資が先延ばしされている影響を受けております。

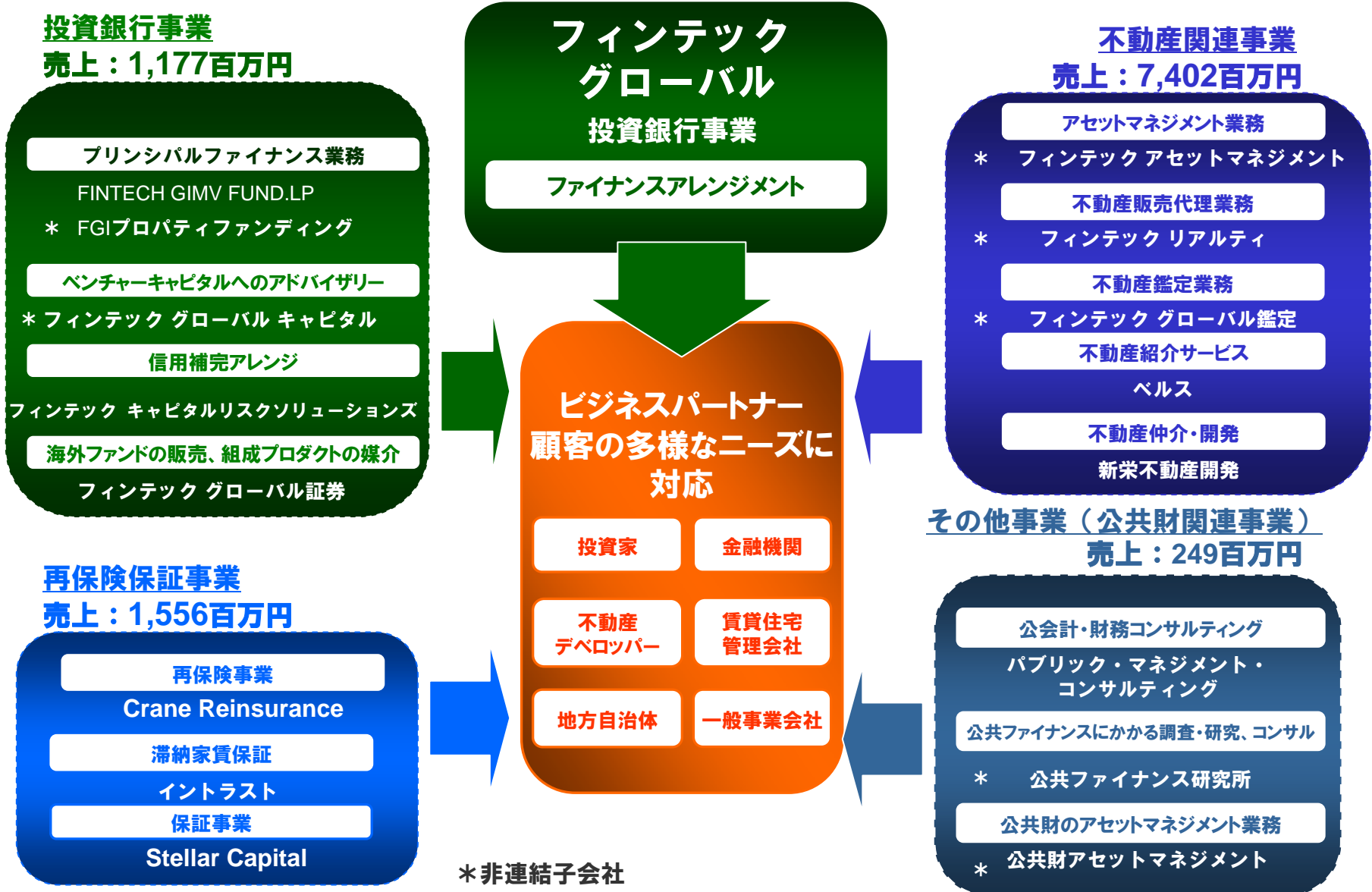
ベルス	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期
売上高	—	—	283	309
経常利益	—	—	12	43

第1四半期に連結子会社とした株式会社ベルスは、厳しい環境下においても比較的底堅い分譲マンション需要を背景に、不動産紹介サービス事業等が堅調に推移しております。

*一部の再保険契約の見直しに伴い、売上を減額修正しております。

營業概況說明

2009年9月期 連結業務内容サマリー／セグメント別売上高



1. 投資銀行事業の営業概況 売上推移

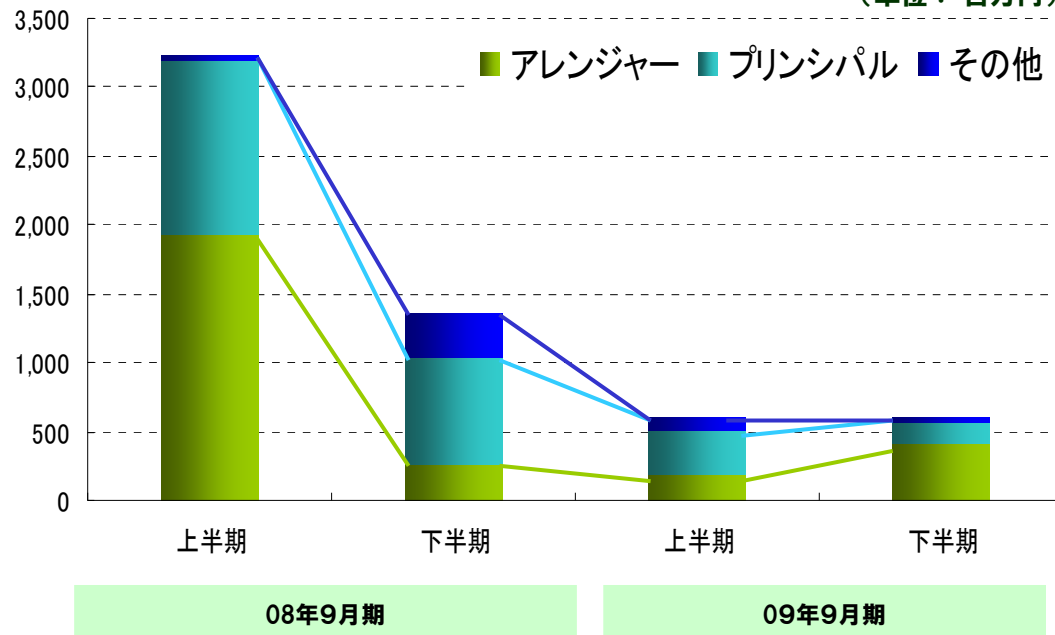
(単位：百万円)

	08年9月期		09年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期
売上合計	3,231	1,356	612	564
アレンジャー	1,934	256	185	417
プリンシパル	1,263	785	331	117
その他	34	314	95	29

企業再生のためのスポンサー契約を基にアレンジメントを行い、3.1億円を計上しました。再生先企業に対し、投資会社、総合サービス企業等多様な投資家からの資金招聘を行い、同社の再生を支援しました。

・営業貸付金の回収を進める一方で、投融资の新規実行を抑制しました。貸倒引当金を設定している案件も含まれることから、金利収入は前期に比べ、大幅に減少しました。

(単位：百万円)



■ 2009年上半期に比べ、昨今の当社のおかれている環境はわずかながら改善の兆しが見られるものの、引き続き厳しい状況が続いております。

アレンジャー業務においては、既存の不動産会社等との顧客基盤と国内外のデット及びエクイティの投資家との関係、またファイナンスアレンジに関するノウハウを生かし、財務アドバイザー業務や企業再生のためのスポンサー契約を基にしたアレンジメントを実行しました。

2.投資銀行事業/プリンシパルファイナンス業務の営業概況

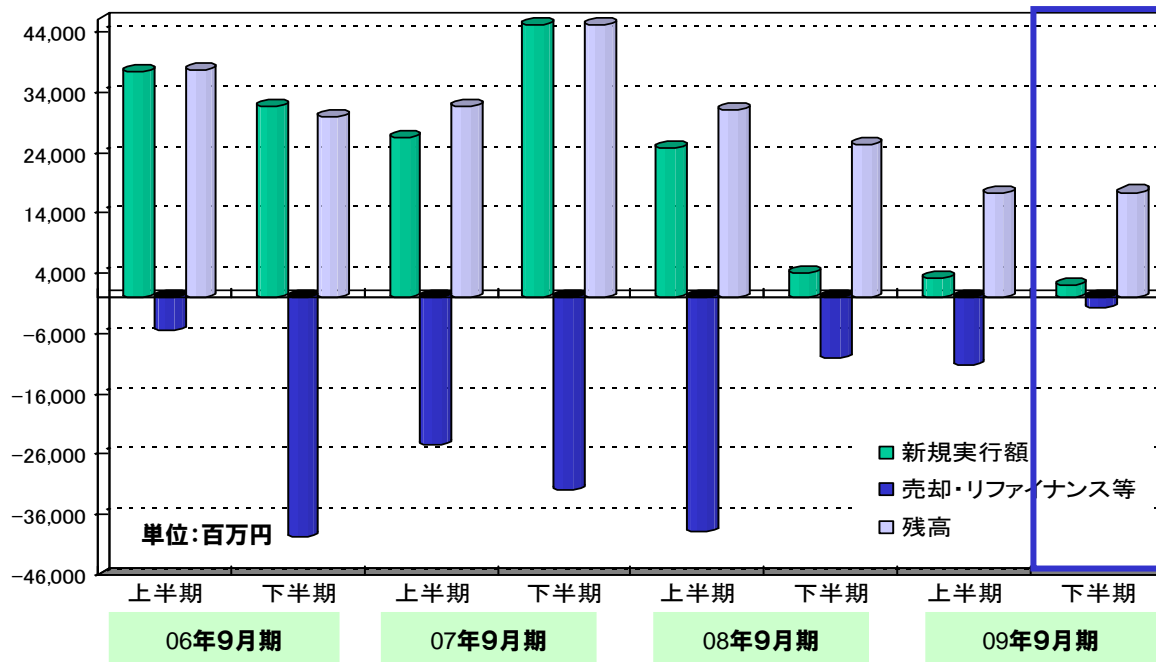
当社自身が資金供給者(投資またはレンダー)として、投融資(匿名組合出資・シニア・メザニンローン、コーポレートローン)を行います。

<当社投融資実行残高>

(単位: 百万円)

連結	06年9月期		07年9月期		08年9月期		09年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
新規実行額	37,340	31,720	26,438	45,182	24,805	4,048	3,227	1,946
売却・リファイナンス・ アービトラージ・為替調整	5,344	39,617	24,558	31,882	38,757	9,935	11,113	1,854
残高 *	37,743	29,846	31,726	45,026	31,075	25,189	17,303	17,395

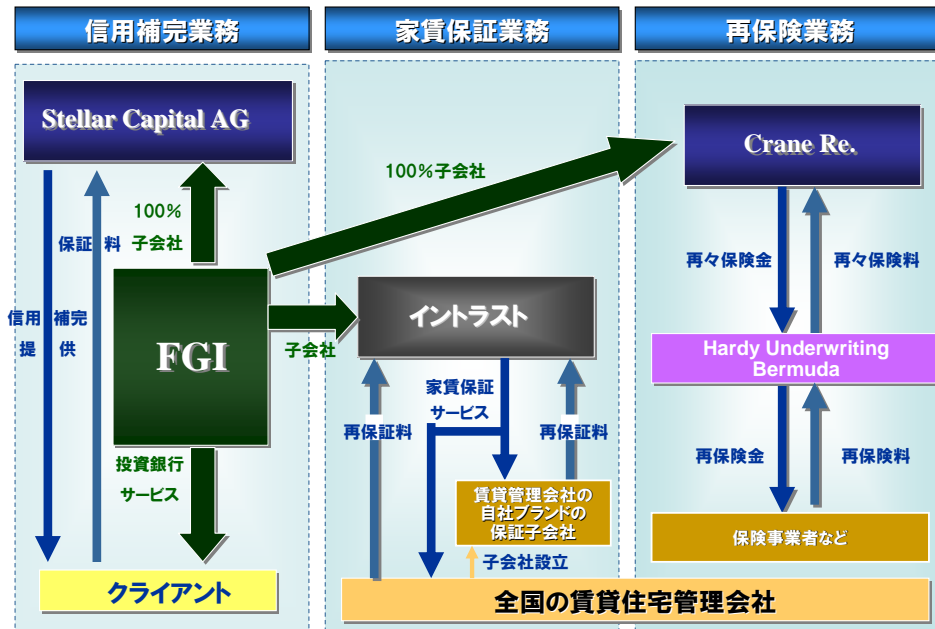
* 投融資残高は、連結BSの営業投資有価証券+営業貸付金の合計額



プリンシパルファイナンスは大幅抑制し、回収に努めました。

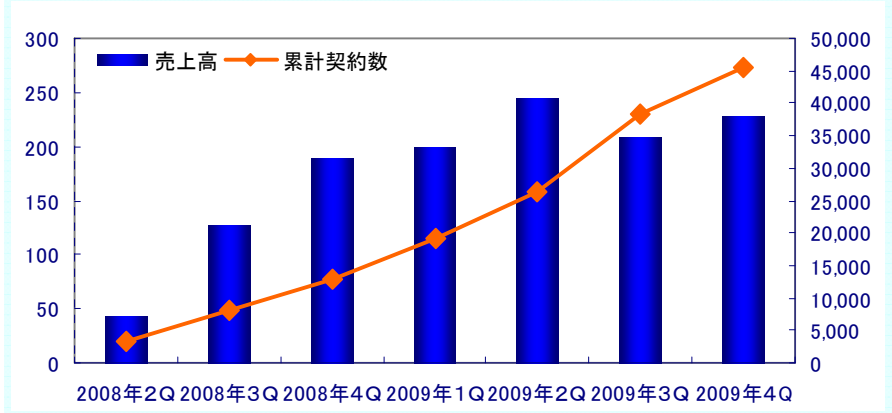
新規実行の内訳に関しては、主に連結子会社であるFINTECH GIMV FUNDからベンチャー企業への投資によるものであります。

3.再保険保証事業の営業概況



単位:百万円	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期
売上高	203	6 *	706	850

*一部の再保険契約解約に伴い、売上を減額修正しております。
 (売上高/百万) **イントラストの売上と累計契約数** (累計契約数)
 売上高はイントラスト単体・連結調整前



イントラスト:

売上高・契約数は順調に増加しました。

Stellar Capital/Crane Re:

当期においては、Stellar Capitalによる保証を要する信用補完案件が組成されなかったため、既存案件の保証に対する期間収益のみ売上計上しました。なお、投資効率を勘案し、現在同社の減資手続きを進めております。また、本件により、当社個別決算において関係会社株式評価損を約13億円計上しております。

Crane Reは、Hardy Underwriting Bermudaのシンジケート382からの再保険料収入が引き続き伸長しており、今後も同社取引先の保有する傷害保険等のリスクを順次引き受けてまいります。

* Hardy Underwriting Bermuda: ロンドン証券取引所上場の再保険会社

4.不動産関連事業/その他事業（公共財関連事業）の営業概況

■不動産関連事業

不動産関連事業では、不動産の仲介・売買収益、連結の範囲に含めているSPC保有の不動産の賃料収益、マンション完成在庫の仕入・販売事業における収益、株式会社ベルス(職域福利厚生トータル・サービス、不動産売買・賃貸・管理の紹介・斡旋、大手外資系会社従業員に対する賃貸住宅サービス事業等)の収益を取り込んでおります。

単位:百万円	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期	下半期	上半期	下半期
不動産関連事業売上高	1,678	590	575	6,827

当事業においては、当社がマンションの完成在庫の仕入・販売事業を行ったことで、1,581百万円の売上を計上しております。また、債権回収の一環として担保取得した物件等を売却したことにより、5,006百万円の売上を計上しております。このほか、収益物件からの賃料収入及び不動産仲介手数料収入を売上計上しております。第1四半期に連結子会社とした株式会社ベルスは、厳しい環境下においても比較的底堅い分譲マンション需要を背景に、不動産紹介サービス事業等が堅調に推移しております。

■その他事業(公共財関連事業)

その他事業では公会計の導入コンサルティングからシステム構築・業務運用支援を行う株式会社パブリック・マネジメント・コンサルティング(PMC)の収益を取り込んでおります。

単位:百万円	2008年9月期		2009年9月期	
	上半期	下半期 (7~9月)	上半期	下半期
その他事業売上高	—	79	152	97

前期において、PMCの株式98.5%を取得し、連結子会社といたしました。公会計整備により地方公共団体の資産が時価評価されることで、財政健全化法を意識した資産効率向上へのニーズが生まれてくると考えており、当社はこのニーズに対応する証券化・流動化を用いた財務ソリューションのご提供を企図しております。

PMCは、全国の税理士事務所や日本電気株式会社(NEC)などのアライアンスパートナーからの受注を含め、累計で約70の地方自治体との契約を獲得しておりますが、景気悪化による税収減により、各地方自治体はIT投資を絞る傾向にあり、受注進捗は若干先延ばしされる見込みであります。

なお、本年6月29日に株式会社公共ファイナンス研究所及び株式会社公共財アセットマネジメントを設立し、今後、公共財関連事業を本格展開して参ります。

財務ハイライト

1. 連結 貸借対照表

資産の部 (単位: 千円、%)

	08年9月期		09年9月期	
流動資産	78,155,349	98.9	14,463,033	91.7
現金及び預金	9,600,189		5,811,512	
売掛金	211,058	1	186,152	
有価証券	4,119,244		431,098	
営業投資有価証券	5,828,400		6,059,149	
たな卸資産	36,344,528		911,167	2
繰延税金資産	823,502	3	1,065	
営業貸付金	19,361,400		11,336,718	
未収入金	7,545,342		0	
その他	2,151,468	4	1,960,718	
貸倒引当金	△7,829,785		△ 12,234,548	
固定資産	865,843	1.1	1,303,031	8.3
有形固定資産	275,997	0.3	196,647	1.2
無形固定資産	241,157	0.3	629,990	4.0
投資その他の資産	348,688	0.4	476,393	3.0
資産合計	79,021,192	100.0	15,766,064	100.0

負債の部 (単位: 千円、%)

	08年9月期		09年9月期	
流動負債	37,399,383	47.3	1,682,247	10.7
短期借入金	33,613,647		175,000	
一年以内返済予定長期借入金	1,818,300		260,000	
その他	1,967,432		1,247,247	
固定負債	24,195,549	30.6	8,635,980	54.8
新株予約権付社債	22,170,000	5	7,950,000	
長期借入金	1,612,600		245,000	
その他	412,949		440,980	
負債合計	61,594,933	77.9	10,318,228	65.4

純資産の部 (単位: 千円、%)

	08年9月期		09年9月期	
株主資本	16,855,245	21.3	4,762,304	30.2
資本金	10,764,317	13.6	10,764,317	68.3
資本剰余金	10,351,900	13.1	10,351,900	65.7
利益剰余金	△ 4,260,972	△ 5.4	△ 16,353,913	△ 103.7
評価・換算差額等	△ 47,945	△ 0.1	△ 108,944	△ 0.7
新株予約権	17,659	0.0	20,572	0.1
少数株主持分	601,301	0.8	773,903	4.9
純資産合計	17,426,259	22.1	5,447,836	34.6
負債純資産合計	79,021,192	100.0	15,766,064	100.0

- 1 ステラ及びクレインの投資ポジションを解消
- 2 連結の範囲に含まれていたSPCの非連結による減少分
(たな卸資産・短期借入金)
- 3 繰延税金資産の取崩し
- 4 エフェックス・オンライン社の売却にかかる未収入金
- 5 ユーロ円CBの買入消却を実施
- 6 自己資本比率: 29.5%

2. 連結 損益計算書

(単位: 千円、%)

	2008年9月期		2009年9月期	
売上高	14,165,298	100.0	10,385,341	100.0
売上原価	5,850,602	41.3	17,711,538	170.5
売上総利益	8,314,696	58.7	△ 7,326,196	△ 70.5
販売費及び一般管理費	16,555,000	116.9	12,994,837	125.1
営業利益	△ 8,240,303	△ 58.2	△ 20,321,034	△ 195.7
営業外収益	195,757	1.4	61,381	0.6
営業外費用	1,070,129	7.6	937,653	9.0
経常利益	△ 9,114,676	△ 64.3	△ 21,197,306	△ 204.1
特別利益	4,761,756	33.6	9,955,563	95.9
特別損失	1,122,020	7.9	175,718	1.7
税金等調整前四半期(当期)純利益	△ 5,540,367	△ 39.1	△ 11,417,462	△ 109.9
法人税等合計	669,619	4.7	839,759	8.1
少数株主利益又は少数株主損失(△)	950,707	6.7	△ 166,146	△ 1.6
四半期(当期)純利益	△ 7,160,694	△ 50.6	△ 12,091,075	△ 116.4

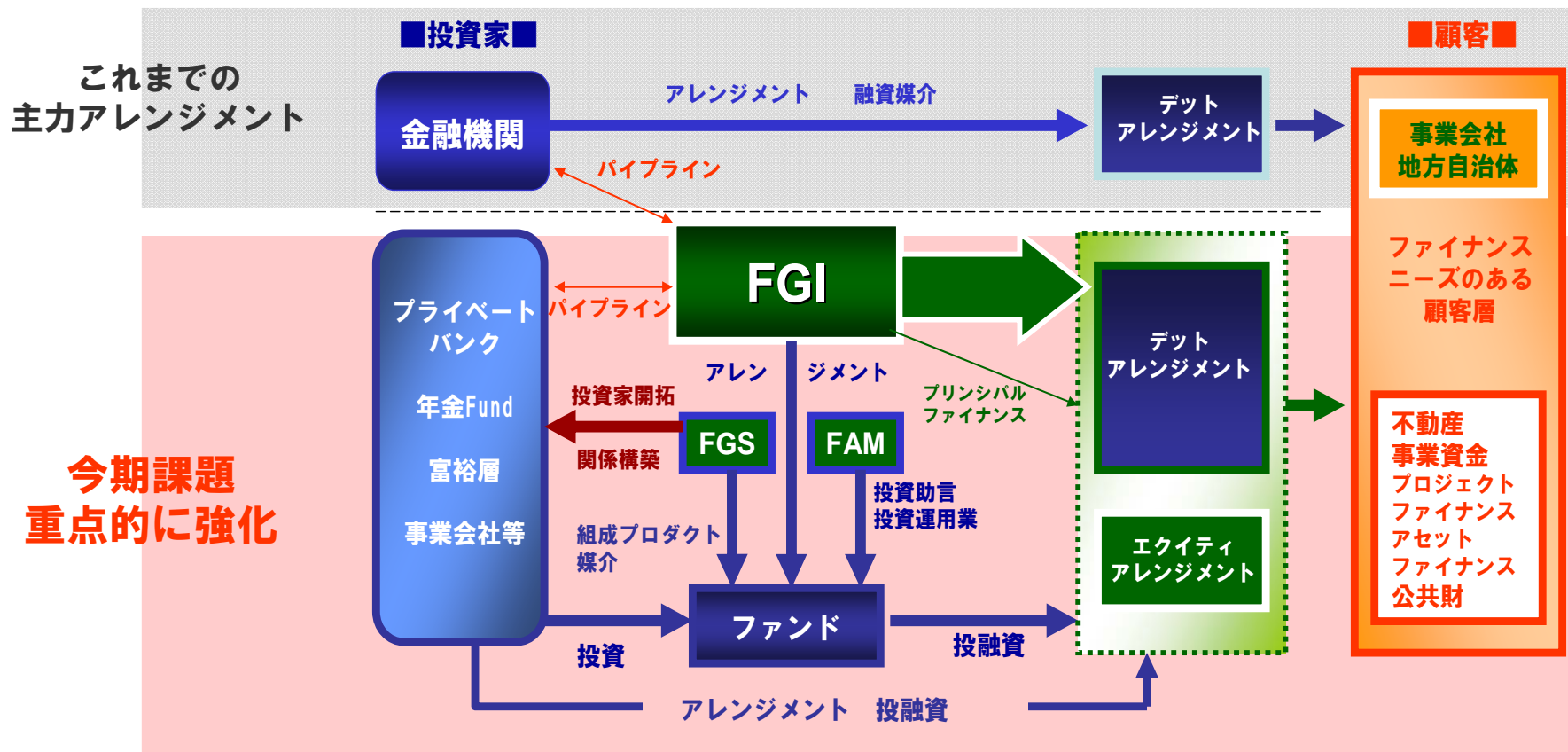
1 売上原価：債権回収の一環として担保取得した物件等を売却

原価6,367百万円、営業投資有価証券等の評価損及び売却損10,299百万円

2010年9月期 基本施策及び業績予想

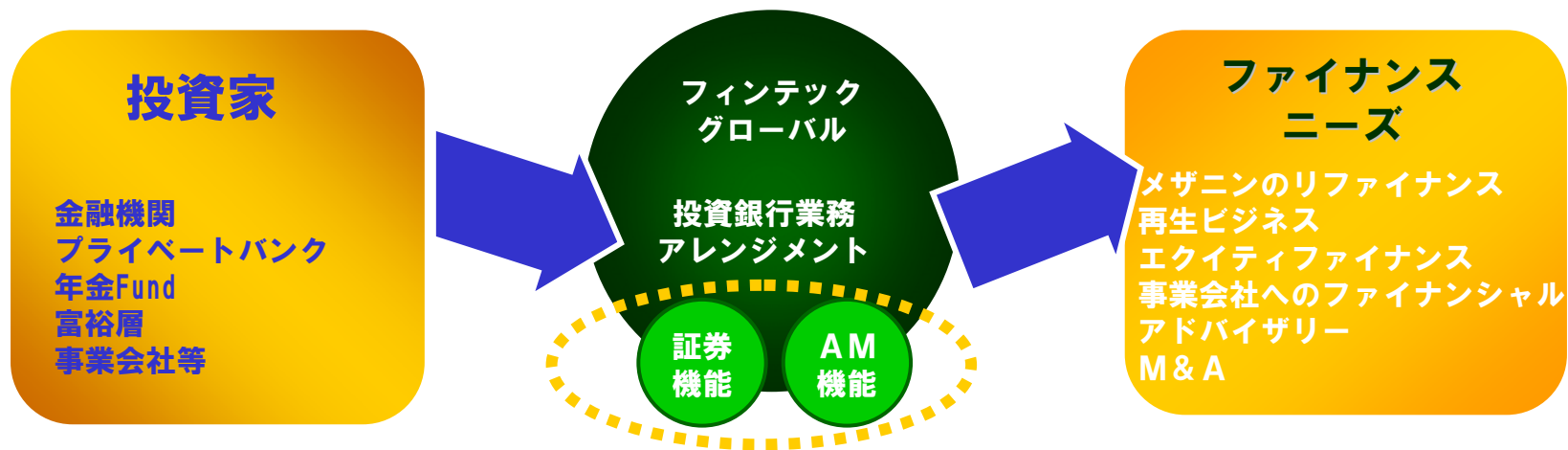
2010年9月期 新生フィンテックにむけての取組み

これまでの主力であった、金融機関からのデットアレンジメントに加え、欧州、アジア圏等の多様な投資家との太いパイプラインより資金を導引したデッド・エクイティアレンジメントの提供を図るべく、組織形態の大幅な刷新を含めた施策を打ち、新生フィンテックとして、顧客ニーズにマッチしたファイナンスアレンジメントを提供してまいります。



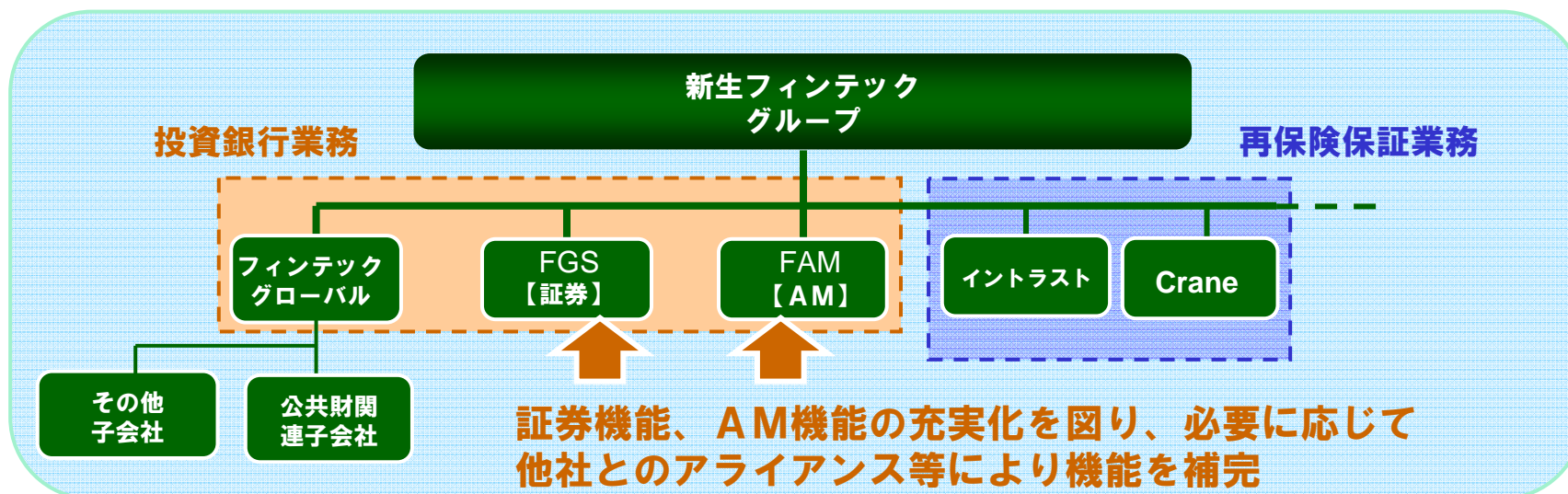
FGS : フィンテックグローバル証券
 FAM : フィンテックアセットマネジメント

2010年9月期 新生フィンテックにむけての取組み



証券、AM業務の重点強化

様々なニーズに答えられる体制の構築を目指します。



FGS：フィンテックグローバル証券
FAM：フィンテックアセットマネジメント

1 投資家の開拓、投資資金受託に向けた取組み

- 多様な投資家とのネットワークを活用し、投資家の開拓を推進、ファンド創設を目指す。
- 新たな取組みに必要となるAM機能（FAM）、証券機能（FGS）の強化に向け、アライアンス、買収等による機能補完も視野に、体制を整備。

2 顧客ニーズ最重視の徹底、案件ソーシング

- 営業力の強化、案件加工能力の向上
 - 破綻企業のスポンサーとして投資家資金を招聘
- メザニンローンのリファイナンス
- 膠着状態にある開発型案件に対するファイナンスアレンジメント
- 再生ビジネスの推進
- 証券ビジネスの推進
- 事業会社へファイナンシャルアドバイザー
- M & A 推進体制の確立

1 投資家からの資金受託に向けた取組み

投資家開拓及び ファンド創設

特にアジア圏における投資家及びプライベートバンク、年金基金等を重点的に開拓。海外投資家の資金を招聘し、安定的・継続的な収益確保への取組みとしてファンド創設を企図しております。

前期において、企業再生のためのスポンサー契約を基にアレンジメントを行い、再生先企業に対し、投資会社、総合サービス企業等多様な投資家からの資金を招聘、同社の再生を支援しました。

AM、証券業務 の充実

新たな取組みに必要となる機能をアライアンス、買収等により補完し、体制整備を行ってまいります。

2 案件のソーシング、顧客ニーズ最重視の徹底に向けた取組み

ファイナンス案件 の獲得

顧客ニーズ最重視の徹底、案件ソーシング能力の向上を図ってまいります。質の高い、良質な案件獲得を目指します。

再生ビジネス の推進

破綻企業、REIT、経営不振に陥っている企業（主に不動産会社）に対する再生をサポート。金融ノウハウの提供、場合によっては、国内外の投資家からの資金を招聘し、再生をサポートしてまいります。

証券ビジネス の推進

第三者割当増資、新株予約権等のファイナンスアレンジメントを行ってまいります。
Eg. (株)イントランスから資金調達に関するアドバイザー業務を受託、増資にかかるストラチャーの提案を行いました。

不動産会社数社と資金調達スキームの提案・助言等アドバイザーにかかる業務提携を締結し、投資家紹介、投資事業有限責任組合（LPS）を通じての出資引受けを行いました。

M & A 推進体制 の確立

FGIグループの顧客を基に、セル・サイドのアドバイザーとして売却案件を中心に開拓し、依頼に基づいて買収案件、M&Aや業務提携等行ってまいります。

Eg.菓子製造・販売会社のアドバイザーとして、上場食品会社に同社株式を売却しました。

2010年9月期 再保険保証・公共財関連事業等における取り組み

1 その他業務における収益確保に向けた取り組み

再保険保証 事業

イントラストにおいては、効率的なオペレーションの創設、また優良顧客の開拓を行ってまいります。
Craneにおいては、引き続き保険リスクの再保険業務引受けを行い、安定的な収益への寄与を見込み、更なる拡大を目指します。

イントラスト、Crane Reinsurance、Stellar Capital

公共財関連 事業

地方公共団体の財政健全化への取り組みに対し、PMCによる公会計コンサルティング、PFIによるPPPの調査・コンサルティングを引き続き展開するとともに公共財に関するアレンジメント業務への取り組みも実施してまいります。

パブリック・マネジメント・コンサルティング（PMC）
公共ファイナンス研究所（PFI）、公共財アセットマネジメント

不動産関連 事業

ベルスにおいては、既存顧客へのサービス拡充と深耕、新規顧客の積極開拓とともに、既存のビジネスの枠にとらわれない、新たな領域への展開も加速化してまいります。その他不動産鑑定等、不動産関連サービスをワンストップで提供する体制を強化し、FGIグループのアレンジ案件から派生する収益機会を積極的に獲得してまいります。

FGI、ベルス、フィンテックグローバル鑑定

2010年9月期 連結通期業績予想

2010年9月期 通期業績予想（連結）

（単位：百万円）	2008年9月期 実績	2009年9月期 実績	2010年9月期 業績予想
売上高	14,165	10,385	5,500
営業利益	△8,240	△ 20,321	500
経常利益	△9,114	△ 21,197	450
当期純利益	△7,160	△ 12,091	400

連結売上高はFGI単体の売上減少の影響をうけて、前年比△4,885百万円となる見込みです。（前期売上のうち、5,006百万円は債権回収の一環として担保取得した物件等売却したことにより発生）

FGI単体の売上の内訳は、約1,400百万円がアレンジメントによるフィー収入、その他、金利収入及び不動産関連業務等を見込んでおります。

なお、コスト面においては、グループ会社も含め、引き続き全社的なコスト削減を維持、継続させることで、利益率の向上を目指してまいります。

業績予想につきましては、様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の戦略及び業績等につきましては内容と異なる可能性がございますことをご了承下さい。

参考資料

- 個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）

1. 個別 貸借対照表

資産の部 (単位: 千円、%)

	08年9月期		09年9月期	
流動資産	47,333,519	80.2	10,610,094	47.7
現金及び預金	6,229,715		3,320,962	
売掛金	3,324	1	18,094	
有価証券	0		229,500	
営業投資有価証券	14,701,082		6,513,910	
営業貸付金	22,370,000		11,347,678	
短期貸付金	80,000		908,346	
販売用不動産	1,802,615		359,167	
その他	9,956,443		153,159	
貸倒引当金	△ 7,809,660		△ 12,240,726	
固定資産	11,655,508	19.8	11,632,803	52.3
有形固定資産	229,702	0.4	179,289	0.8
無形固定資産	19,675	0.0	16,449	0.1
投資その他の資産	11,406,130	19.3	11,437,063	51.4
資産合計	58,989,028	100.0	22,242,898	100.0

1 当社発行のユーロ円CBを買入

2 グループ会社借入によるもの

負債の部 (単位: 千円、%)

	08年9月期		09年9月期	
流動負債	17,325,991	29.4	9,281,224	41.7
短期借入金	14,686,400	2	7,644,686	
一年以内返済予定長期借入金	1,818,300		180,000	
その他	821,291		1,456,538	
固定負債	23,820,252	40.4	8,034,382	36.1
新株予約権付社債	22,170,000		7,950,000	
長期借入金	1,612,600		45,000	
その他	37,652		39,382	
負債合計	41,146,244	69.8	17,315,607	77.8

純資産の部 (単位: 千円、%)

	08年9月期		09年9月期	
株主資本	17,832,471	30.2	4,908,196	22.1
資本金	10,764,317	18.2	10,764,317	48.4
資本剰余金	10,351,900	17.5	10,351,900	46.5
利益剰余金	△ 3,283,746	△ 5.6	△ 16,208,021	△ 72.9
評価・換算差額等	△ 7,346	0.0	△ 1,477	0.0
新株予約権	17,659	0.0	20,572	0.0
純資産合計	17,842,784	30.2	4,927,291	22.2

負債純資産合計	58,989,028	100.0	22,242,898	100.0
----------------	------------	-------	------------	-------

2. 個別 損益計算書

(単位: 千円、%)

	2007年9月期		2008年9月期		2009年9月期	
売上高	7,287,612	100.0	3,704,386	100.0	4,845,502	100.0
売上原価	740,799	10.2	567,007	15.3	14,128,425	291.6
売上総利益	6,546,812	89.8	3,137,379	84.7	△ 9,282,922	△ 191.6
販売費及び一般管理費	2,316,585	31.8	10,975,055	296.3	11,358,066	234.4
営業利益	4,230,227	58.0	△ 7,837,676	△ 211.6	△ 20,640,989	△ 426.0
営業外収益	116,134	1.6	26,830	0.7	31,053	0.6
営業外費用	615,256	8.4	362,506	9.8	70,189	1.4
経常利益	3,731,105	51.2	△ 8,173,352	△ 220.6	△ 20,680,125	△ 426.8
特別利益	0	—	4,059,722	109.6	9,943,847	205.2
特別損失	627,125	8.6	2,195,218	59.3	1,520,537	31.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,103,979	42.6	△ 6,308,847	△ 170.3	△ 12,256,815	△ 253.0
法人税等合計	1,297,356	17.8	△ 252,262	△ 6.8	667,460	13.8
四半期(当期)純利益	1,806,623	24.8	△ 6,056,585	△ 163.5	△ 12,924,275	△ 266.7

